

農園通信 7月



ブルーベリーの収穫が始まりました。

収穫には注意が必要で、熟したものを取るのはもちろんですが、イラガの幼虫に気をつけなくてはなりません。デンキムシなどの別名がある通り、幼虫には毒があり、触れてしまうと痛みが走ります。そのため収穫時に気を付けるよう学生に話します。中にはイラガを避けて防鳥網の外から手を伸ばして収穫し



ています。「ブルーベリーは食べたいけど虫は嫌」と言いながら。



農園にある大学の案内看板のもとにノカンゾウがあり、夏を迎え、オレンジ色のあざやかな花を開いています。「忘れ草」ともいわれ、花は一日限りです。



「夏野菜」と農園で栽培する野菜を手にして学生たちはスマホで写真に収めています。そんな中、一番人気はナスでしょうか。キュウリやズッキーニは嫌いという声を複数聞きます。



梅雨明けし、厳しい暑さが続きます。梅雨明け１０日、梅雨明け後はしばらく安定した晴天が続くものでしたが、暑さが厳し過ぎるからでしょうか、不安定な天候でゲリラ雷雨が続きます。

サツマイモは順調に生育。秋の収穫を楽しみにする学生の声がやんだ畑で蔓が勢いを増しています。



今年も農園の片隅で、カラスウリの花が開きました。本来、日没後に開花するのですが、厳しい暑さのためか日中でもその幻想的な花が開いています。